

愛知県指定無形民俗文化財

大脇の梯子獅子

大脇の梯子獅子は秋に豊作を祝う神事で、今から 400 年以上前に、愛知郡大秋村(現・名古屋市中村区大秋町)から伝えられたといわれています。昭和 42 年 8 月 28 日に県指定無形民俗文化財に指定され、高さ 12m の所に丸太 2 本を渡した櫓(やぐら)を組み、その上で 2 人の若者が「たねまき」、「波打ち」、「藤下がり」などの勇壮な獅子舞を演じます。

今回は、獅子頭の新調と櫓の大規模修理を記念して、演技で使用する実物資料や祭礼に関連した特別展示を行います。

とき: 令和 8 年 6 月 ~ 7 月の土曜・日曜日
(※ 6/28(日)、7/26(日)は除く)

午前 10 時から午後 4 時

場所: 豊明市共生交流プラザ カラット
南館 1 階 歴史民俗資料室(体験学習室)

※ 入場無料!



令和 8 年度特集展示「大脇の梯子獅子」ダイジェスト

今回は、秋に豊作を祝う神事、「大脇の梯子獅子」の獅子頭の新調と櫓（やぐら）の大規模修理を記念して演技で使用する獅子頭や祭礼に関する展示を行いました！

奥から、白、金、赤色の獅子頭！新たに、白と金色の獅子頭が加わりました！近くで見ると迫力がありますね。

祭事に使われる幣（めさ）、鈴、剣、お面。貴重な資料を紹介しました。



市民の方が作成した櫓（やぐら）と獅子舞の様子のミニチュア！躍動感が伝わってきますね！



大脇の梯子獅子の演技種目の紹介！

勇壮で迫力のある演技で構成されていますね！



梯子獅子の部



神楽獅子の部



竹の曲芸の部